

## 令和 8 年度 教育研究推進計画

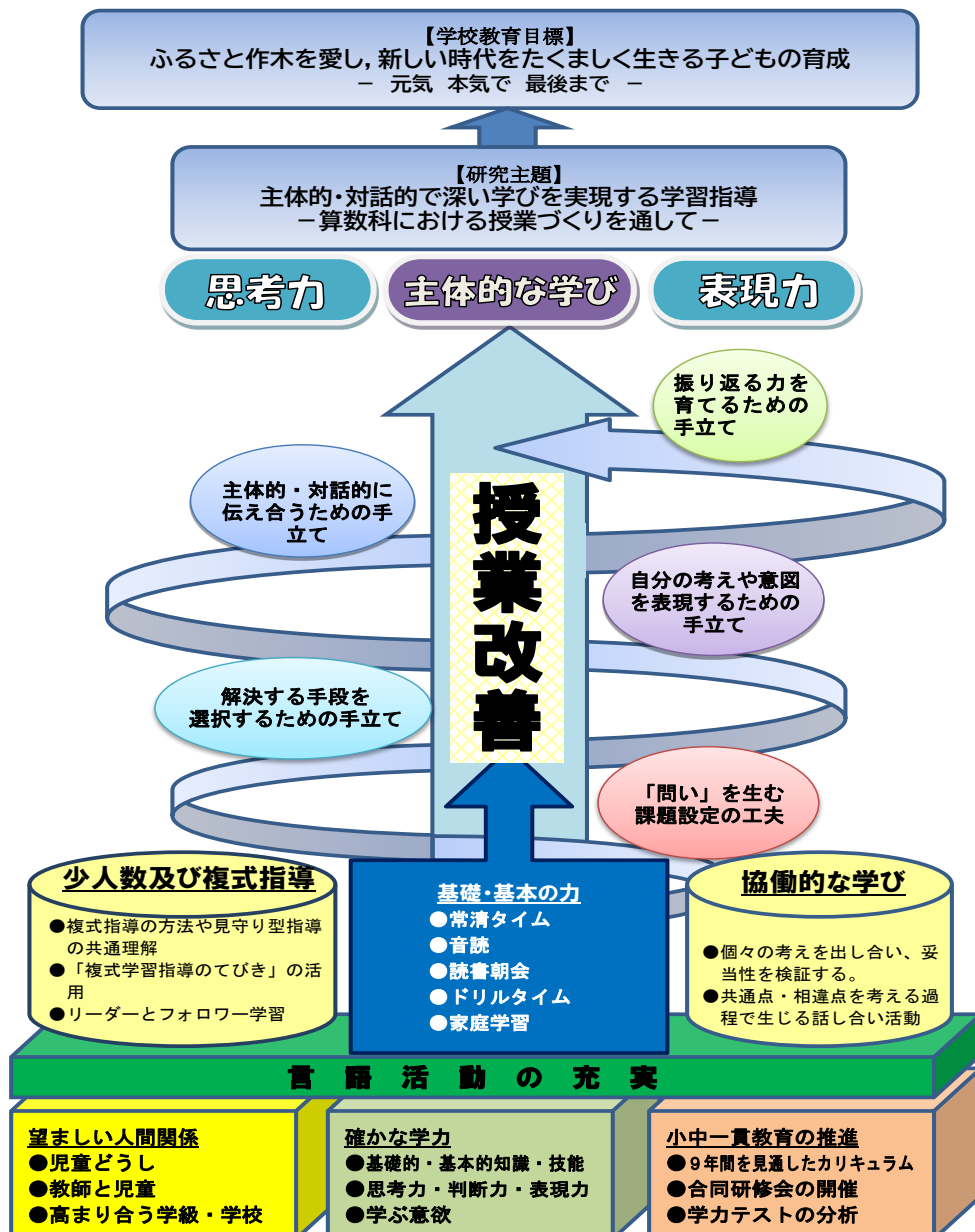
### 1 研究主題

主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導  
－算数科における授業づくりを通して－

### 2 研究主題について

本校はこれまで、「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指し、複式学級における授業改善に取り組んできた協働的な学びや学習リーダーの活用を通して、児童が主体的に学びに向かう姿がみられるようになってきている。

一方で、学びの深まりや思考の質の向上という点では、さらなる授業改善の必要性も明らかになってきた。そこで来年度は、研究教科を算数科に焦点化する。算数科は、課題解決を通して、思考力・判断力をはぐくむことができ、対話によって、考えを深めやすい教科である。算数科における授業づくりを通して、「問い」を生む課題設定、考えを交流する場も、振り返りの充実を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導を追究していきたいと考え、本主題を設定した。



### 3 令和7年度における研究推進

令和7年度は研究主題「主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導—複式学級における授業の工夫を通して—全教職員で校内研修を実施した。基本方針を「各担任による1授業公開」とし、公開後には事後研を行い、成果と課題について協議した。

1, 2, 3・4年生は算数科において授業を行い、学習リーダーを中心とした授業づくりに取り組んだ。のびのび、すくすく学級では、特別支援教育の視点や、「対話的で深い学び」が実現できているかという観点から協議を行った。5・6年生は国語科で小中合同研修を実施し、協議を深めた。

年間を通して、学習リーダーを中心に主体的に学びに向かい、対話を通して協働的に学ぶ「見守り型」の複式授業の創意工夫について、実践と検証を重ねることができた。特に、学習リーダーを中心にした協働的な学びを、児童自らが実践しようとする姿が着実に育ってきていることが大きな成果である。

一方で、次年度に向けた継続課題も明らかになった。まず、公務の多忙化の中で、研究の見通しや検証を十分に行う時間の確保が難しく、継続的、計画的な研究の推進が十分とはいえない面があった。また、学習リーダーの育成については個人差がみられ、役割の自覚や対話をつなぐ力の育成に継続的な支援が必要である。複式学級における学び合いについては一定の成果がみられたものの、交流の質や対話が形式的にならないよう、問いの設定や振り返りの充実を図ること、またリーダーの育成と同時にフォロワーの育成することが今後の課題である。

### 4 研究仮説

算数科における学習指導において、少人数及び複式指導の観点を中心に、対話を意図的に位置づけることで、問題解決への見通しをもたせることができれば、主体的・対話的で深い学びが実現するのではないかと考える。

### 5 研究内容

#### 1. 複式指導の工夫

令和8年度（1年次）

##### （1）複式指導の観点を中心に

①複式指導の方法やポイントについての共通理解

②「複式学習指導のてびき」の活用

③リーダー学習の手引きの見直し

##### （2）算数科の学習指導を中心に

①児童の「問い」を生む課題設定の工夫・・・本時の視点（数学的な見方）に導く

・単元をデザインする

・既習内容と比較させる

・児童の認識のずれを生かす    ・日常生活・社会生活と関連させる

・視覚に訴える資料（実物・動画・写真など）で提示する

②児童が解決する手段を選択するための手立て・・・数学的な活動を促す

・思考ツール（具体物，図，表，グラフ，既習内容など）

・考える手がかり

「そろえて比べる」「分けて考える」「いくつ分で考える」

「きまりを見つける」「前（既習内容）と同じように考える」

令和9年度（2年次）

1) 算数科の学習指導を中心に

児童が解決する手段を選択するための手立ての工夫

・思考ツール（具体物，図，表，グラフ，既習内容など）の指導・活用

・考える手がかりの例示

「そろえて比べる」「分けて考える」「いくつ分で考える」

「きまりを見つける」「前（既習内容）と同じように考える」

2) 複式指導の観点を中心に

①複式指導の方法やポイントについての共通理解

②「複式学習指導のてびき」の活用

③リーダー学習の手引きの見直し

## 6 検証の指標

（1）〔指標Ⅰ 学力調査（思考力・表現力）〕

算数単元末テスト80点以上の児童の割合を75%以上にする。

(2) [指標2 「数学的な見方」を働かせるための指導の実践]

児童が解決する手段を選択するための手立ての具体化

(3) [指標3 「主体的な学び」に関わる意識調査]

「まとめ・創造・表現」関わる意識調査で肯定的回答の児童の割合を85%以上にする。

(4) 研修計画

| 月    | 研修・研究授業等の計画                                                       |
|------|-------------------------------------------------------------------|
| 4 月  | 今年度の研究推進についての説明<br>(全国学力・学習状況調査)<br>児童アンケート実施①と結果分析               |
| 5 月  | 校内授業研究①                                                           |
| 6 月  | 校内授業研究②                                                           |
| 7 月  |                                                                   |
| 8 月  | 公開研究会の指導案作成<br>小中合同研修会                                            |
| 9 月  | 道徳参観日(略案交流)<br>校内授業研究③<br>校内授業交流週間                                |
| 10 月 | 10月8日(木)作木小学校区小中一貫教育公開研究会授業研究<br>公開研究会のまとめ<br>校内授業研究④⑤(のびのび・すくすく) |
| 11 月 | 校内授業研究⑥                                                           |
| 12 月 | 児童アンケートの実施②と結果分析                                                  |
| 1 月  | 三次市学力到達度調査                                                        |
| 2 月  | 研究のまとめ                                                            |
| 3 月  | 来年度の研究の方向性について                                                    |

(5) 討議の柱

①児童は、対話的・協働的に取り組んでいたか。(算数科の学習指導)

②学習リーダーを中心に、主体的に取り組んでいたか。(複式学級)